

IT21 の会 (平成 17 年 5 月) 第 88 回議事録

日 時 : 平成 17 年 5 月 21 日(金) 13 時 30 分 ~ 15 時 00 分

場 所 : 東京都大田区産業プラザ 6 階 D 会議室

出席者 : 18 名 CDP ポイント 1

配布資料

- ・ 0505-1 「生物をシステムとして理解する - システムバイオロジーへの招待」
(石井 一夫氏)
- ・ 0505-2 システム監査の動向について (黒澤 兵夫氏)

議 事

1. 議事および資料確認 宇佐美 昌俊氏
2. 初参加の方の自己紹介
2 名の方 (伊川氏、桔梗氏) の自己紹介があった。
3. 講演 : 「生物をシステムとして理解する - システムバイオロジーへの招待」石井 一夫氏
近年, ゲノム解析で得られた大量のデータをもとにモデルを構築し, 生物現象をコンピュータでシミュレーションを行うことにより, 生物研究や臨床研究を行うシステムバイオロジーという分野が注目されている。システムバイオロジーでは, 生物を遺伝子やタンパク質など個々の生物的デバイスを組み合わせたシステムとして理解する。特に今回は生物の個々のデバイスをオブジェクトと考え, 生物現象を, UML を用いて定義 (モデリング) し, XML を用いて記述するマークアップ言語 SBML (Systems Biology Markup Language) を中心に, オブジェクト指向を利用したバイオインフォマティクスについて紹介した。このようなシミュレーションにより, 個別の臨床データを活かして一人一人に最適な医療を提供できる可能性があるが, 治療効果などの判定が単に統計的傾向だけで決められてしまう危険性もある。したがって, コンピュータによるシミュレーションに頼るだけでなく, きちんとした物質的な裏づけをとっていくことも必要である。
4. システム監査の動向について 黒澤 兵夫氏
システム監査学会「第 19 回研究大会」(5 月 27 日開催)
6 月度 CPD 中央講座 (第 58 回)「最新の感性デザインと課題について」(6 月 25 日開催)
6 月度 CPD ミニ講座 (第 3 回)「異文化とコミュニケーション」(仮称)(6 月 29 日開催)
7 月度 CPD ミニ講座 (第 4 回)(案)「技術とロマン」(7 月 4 日または 5 日開催)
5. その他連絡事項
内田 潤一氏

以 上 (記載者 : 小瀬木浩昭 記)